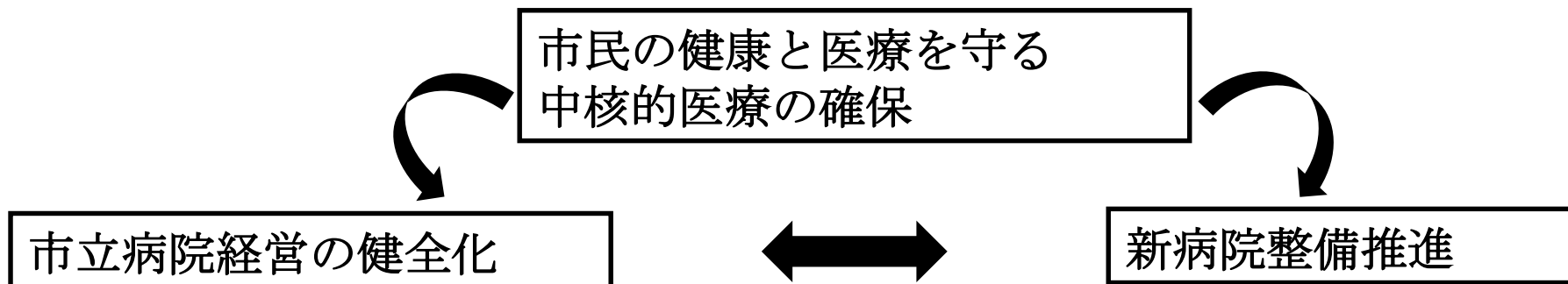


野洲市民病院整備事業特別委員会

野洲市民病院整備工事について

令和元年12月24日
市民病院整備課

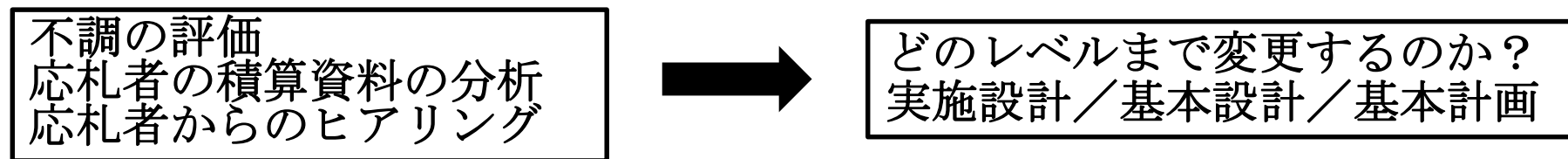
市民病院整備の今後の対応



新病院整備



再発注手続き



- 実施設計の(大胆な)見直しで発注 → 随意契約
- 基本計画、基本設計段階に戻り発注
通常発注／デザインビルド(DB)で発注 → 競争入札

入札結果の検証(概要)

・入札結果

参加業者 3 社 (うち 1 社は事前辞退)

最低応札額 9,704,200,000 円 (税込)

予算限度額 8,500,000,000 円 (税込)

差額 約 1 2 億円

・検証方法

設計積算額と見積り内訳との比較

参加業者へのヒアリング

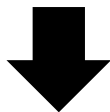
・検証結果

高力ボルト等の鉄骨、金属関連を中心とした資材価格及び技術作業員不足による労務費の高騰による影響が大きい。

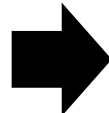
発注方法の検討と確定

発注方法の評価

方法	利点等	欠点等	評価
実施設計を見直す	事務作業量が少ない 経費が少ない	床面積を削減し機能及び空間の再検討が必要	◎
基本設計段階に戻る	事務作業が簡明	作業量が多い 時間がかかる 経費が多	✕
デザインビルド(DB)	工事受注が見通せる	受注業者が限られる 費用対効果が不明	○
ECI方式	工事受注が見通せる	特殊工法なく馴染まない 費用対効果が不明	✕



実施設計見直し



工事再入札（一般競争入札）

市民病院設計見直しの基本方針(案)

- 現実施設計を基本として見直す。
- 当初の建設工事費（予算限度額）の増額を行わない
- 高度急性期病院と診療所(在宅支援)の間の位置づけを再確認
- 病院として必要な機能を改めて明確にする。
- 意匠よりは機能、安全、快適性を優先する。
- 実施設計委託前の原案には病院スタッフ、医療関係者、大学等の意見を反映
- 速やかに作業を進め、今年度内に実施設計を（随意契約）委託【補正予算の提案】

実施設計の見直し

設計業者からの提案

病院運営サイドからの機能と施設の見直し
実施設計→基本設計→基本計画

前提条件
工事費の予算限度額は
変えない

機能と施設の見直し

病室数／構成
コンビニ・イートイン
健康管理センター（健診）
健康ホール
患者サポートセンター
救急部門 病床数 診察室数
霊安室／駐車待機スペース
放射線部門
医事課／診察室数／中央処置室／化学療法等
手術室数と機能・レベル
特浴室数
当直室数
透析部門

施設規模／数を明確化

見直しの視点と作業

現病院の装備と稼働状況を踏まえる
基本計画を再確認し、将来機能を再想定

実施設計見直し

設計見直しのスケジュール及び財源(案)

業務期間

- ・変更設計: 6か月程度
- ・法手続き: 6か月程度
(構造計算、大臣認定、建築確認申請等)

⇒再入札までには、少なくとも1年は必要な状況

業務委託料等

- ・設計業務委託 約50,000千円
 - ・・・設計変更業務、関連手続き
- ・建築確認申請等手数料 約3,000千円
- ・技術支援業務委託 約5,000千円
 - ・・・設計業務に対する技術的助言

⇒市議会に対して補正予算の提案を予定

財源

- ・社会資本整備総合交付金を最大限に活用する。
- ・病院事業債の充当

市民病院実施設計見直し工程

